

プログラム

教育講演1 7月8日(土) 12:20～13:40

第1会場(55A)

司会：福岡 達之(広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻)

咀嚼を考慮した摂食嚥下リハビリテーション

松尾 浩一郎 藤田保健衛生大学 医学部 歯学教室

教育講演2 7月8日(土) 13:50～15:10

第1会場(55A)

司会：吉野 真理子(筑波大学 人間系)

コミュニケーションの視点からみた認知症 — 評価と支援／基礎と展開 —

飯干 紀代子 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科

教育講演3 7月9日(日) 10:30～11:50

第1会場(55A)

司会：川崎 聡大(東北大学大学院 教育学研究科)

自閉スペクトラム症(ASD)のコミュニケーションの特性と支援

新澤 伸子 武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科

日本語の言語発達のランドマーク

シンポジウムの趣旨 一言語発達のランドマークとは—

愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻 宮田 Susanne

S1-1 初期言語発達のランドマークとしての喃語の発達 —乳児の発声はなぜ・どのように変化してゆくのか—

茨城キリスト教大学 文学部 児童教育学科 江尻 桂子

S1-2 親は何を言い、子どもは何を聞くか —コミュニケーションの意図と言語発達への促進的機能—

東京学芸大学 教育実践研究支援センター 大伴 潔

S1-3 文法発達段階のランドマーク —代表的な助詞および動詞活用形の獲得順序から見て—

愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻 宮田 Susanne

指定討論

愛知淑徳大学 心理学部 心理学科 坂田 陽子

司会：吉畑 博代(上智大学大学院 言語科学研究科 言語学専攻 言語聴覚研究コース)
吉田 敬(愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻)

失語症への認知神経心理学的アプローチ

S2-1 認知神経心理学的評価の枠組

長塚 紀子

S2-2 聴覚的理解障害に対する評価と介入

県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科 津田 哲也
岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 中村 光

S2-3 口頭表出に対する評価と介入

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター リハビリテーション部 浦野 雅世

モーニングセミナー1 7月9日回 8:00～9:00

第3会場(15A)

司会：山田 和子(名古屋市総合リハビリテーションセンター 第一リハビリテーション部 言語聴覚科)

失語症の意思疎通支援

吉川 雅博 愛知県立大学 教育福祉学部 社会福祉学科

モーニングセミナー2 7月9日回 8:00～9:00

第4会場(15B)

司会：権藤 桂子(共立女子大学 家政学部 児童学科)

文化言語の多様な子どもの二言語能力の育成 —学校現場におけるアセスメントとサポートのあり方を考える—

櫻井 千穂 同志社大学 日本語・日本文化教育センター

モーニングセミナー3 7月9日回 9:10～10:10

第3会場(15A)

司会：萩野 未沙(独立行政法人地域医療推進機構 中京病院 リハビリテーションセンター)

音響分析で理解を深める！ 頸部聴診法活用のポイント

大野木 宏彰 小笠原訪問看護ステーション

モーニングセミナー4 7月9日回 9:10～10:10

第4会場(15B)

司会：平島 ユイ子(国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 言語聴覚学専攻)

人工内耳装用児において大切にしたいこと

井脇 貴子 愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻

一般演題(口頭発表)

第1日目 7月8日(土)

1-A 読み書き 9:00～9:40

第1会場(55A)

座長：河野 俊寛(金沢星稜大学 人間科学部 スポーツ学科)

高橋 泰子(大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部)

1-A-1 学齡児におけるかな文字表記の習得過程
—特殊表記に焦点をあてて—

上智大学大学院 言語科学研究科 言語学専攻 言語聴覚研究コース 村田 百子

1-A-2 漢字書字におけるチャンキングスキルの発達

上智大学大学院 言語科学研究科 言語学専攻 言語聴覚研究コース 宮城 理奈

1-A-3 大学の臨床実習における発達性 dyslexia の支援
—ST を目指す—事例について

北里大学 石坂 郁代

1-A-4 英語習得初期段階における効果的な指導法の検討
—統合的フォニックスの活用—

新潟大学 教育学部 入山満恵子

1-B 吃音(小児) 9:45～10:15

第1会場(55A)

座長：土屋 美智子(日本聴能言語福祉学院 聴能言語学科)

1-B-1 吃音のある児童の学校生活の環境に関する実態調査

金沢大学 人間社会研究域 小林 宏明

1-B-2 吃音のある中高生が学級担任に求める合理的配慮

広島大学大学院 教育学研究科・国際協力研究科 川合 紀宗

1-B-3 幼児吃音に関する幼稚園教諭の経験と知識

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 酒井奈緒美

1-C 肢体不自由 10:20～10:40

第1会場(55A)

座長：下嶋 哲也(国立障害者リハビリテーションセンター・学院 言語聴覚学科)

1-C-1 重症心身障害児における介助自食の意義

ことばと発達うさぎ 朴 麻優子

1-C-2 先天性筋ジストロフィー児の語彙獲得の特徴について

一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 渡辺 佐和

1-D 知的障害・重複障害 10:45～11:15

第1会場(55A)

座長：野沢 由紀子(この街きっず学園)

安田 香実(各務原市福祉の里)

1-D-1 頭部保持具を用いた重症心身障害児の言語コミュニケーション指導

ことばと発達うさぎ 朴 麻優子

1-D-2 重度重複障害のある子へのコミュニケーション支援に関する情報提供の試み

東京都立光明学園 森岡 典子

1-D-3 ダウン症のある男児1事例の言語発達経過 音声知覚の発達を促す関わりを続けて

東京通信病院 小児科 石上 志保

1-E 構音・音韻(成人) 9:00～9:30

第2会場(12A)

座長：田中 康博(名古屋大学 神経内科)

1-E-1 バルーン球を用いた構音器官の交互反復運動が効果的であった 運動障害性構音障害の症例

医療法人偕行会 名古屋共立病院 堀池 正太

1-E-2 日本語版 Communicative Effectiveness Survey の信頼性と妥当性

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

身体リハビリテーション部 織田 千尋

1-E-3 健常者の早口言葉の誤りの分析 ―誤り音と早口言葉の性質に注目して―

名古屋第一赤十字病院 山川 瑞季

1-F 機器の活用(失語症・その他の障害) 9:35～10:35 第2会場(12A)

座長：西脇 恵子(日本歯科大学附属病院 言語聴覚士室)

坊岡 峰子(県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科)

- 1-F-1** ICT 機器による言語訓練の可能性を考える
—ICT ロボットによる言語訓練の試み—
君津中央病院 言語聴覚室 村西 幸代
- 1-F-2** 簡易 AAC アプリ『スイッチボイス』の開発
君津中央病院 言語聴覚室 古川 大輔
- 1-F-3** 失語症者に対する階層性コミュニケーションアプリの有効性の検討
県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科 北村 楓子
- 1-F-4** コミュニケーションにおける音声の重要性とその効果について
—合成音声アプリの使用を通じて—
一般社団法人 結ライフコミュニケーション研究所 高橋 宜盟
- 1-F-5** 音声読み上げ機能を活用したコミュニケーション支援
—進行性難病・吃音・特別支援での事例—
千葉県白井市身体障害者福祉センター他 鈴木三樹子
- 1-F-6** 閉じ込め症候群を呈した事例へのコミュニケーション手段の支援
～父親として生きていくために～
医療法人財団東京勤労者医療会 みさと協立病院 寺山 大貴

1-G 失語症(症例・基礎) 10:40～11:20 第2会場(12A)

座長：竹中 啓介(我孫子市障害者福祉センター)

宮本 恵美(熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻)

- 1-G-1** 失語症を呈した症例の12年間の経過
公益社団法人群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院 松本 育恵
- 1-G-2** 音韻入力・出力障害を認めた失語症例に対する代償的アプローチ
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 末宗 美佳
- 1-G-3** 失語症者の指示詞の理解について —これ・それ・あれに着目して—
愛知淑徳大学 健康医療科学部 福井 里佳
- 1-G-4** 失語症者のモーラ数想起
愛知淑徳大学 健康医療科学部 三浦万未子

1-H 言語発達評価法 12:20～13:10

第2会場(12A)

座長：大原 重洋(聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科)
石坂 郁代(北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻)

- 1-H-1 ナラティブ「かえるさんどこいったの」を用いた言語評価・指導1：
健常児データに基づいて

新潟大学 教育学部 入山満恵子

- 1-H-2 ナラティブ「かえるさんどこいったの」を用いた言語評価・指導2：
ことばの遅れた年長指導例

白根大通病院 青木さつき

- 1-H-3 ナラティブ「かえるさんどこいったの」を用いた言語評価・指導3：
言語発達障害のある小2指導例

埼玉県立小児医療センター 保健発達部 遠藤 俊介

- 1-H-4 ナラティブ「かえるさんどこいったの」を用いた言語評価・指導4：
人工内耳装用児への適用

東京医科大学 耳鼻咽喉科学分野 野波 尚子

- 1-H-5 言語指導効果から捉える日本語版 PEARL の検討

大阪芸術大学 田中裕美子

1-I 口蓋裂 13:15～13:35

第2会場(12A)

座長：中島 栄子(聖マリア病院)

- 1-I-1 唇顎口蓋裂症例における口蓋化構音の長期経過

昭和大学病院 形成外科 木村 智江

- 1-I-2 「口蓋裂言語検査(言語臨床用)DVD付」に関するアンケート調査の報告

口蓋裂言語検査ワーキングチーム 鈴木 藍

1-J 聴覚 13:50～14:20

第2会場(12A)

座長：岩田 吉生(愛知教育大学 特別支援教育講座)

- 1-J-1 失語症者に対する補聴器適合 一語音聴力検査の試み一

君津中央病院 言語聴覚室 石渡 智一

1-J-2 自閉症スペクトラム障害が疑われる聴覚障害児における行動と表情認知の特性

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 言語聴覚学科 平島ユイ子

1-J-3 聴覚処理における音源分離と統合

中京大学 人工知能高等研究所 堀籠 未央

1-K 発達・発達障害 14:25～14:55 第2会場(12A)

座長：大井 学(金沢大学 子どものこころの発達研究センター)

1-K-1 SLI児と健常児における関係節文の理解

調布市子ども発達センター 佐々木美穂

1-K-2 道順説明における言語能力と図示能力の関係について

東京学芸大学 教育学部 椎原 可菜

1-K-3 実験的なコミュニケーション場面における視線行動と話者交代の関係

愛知淑徳大学 健康医療科学部 井崎 基博

1-L 支援の多様性 15:00～15:20 第2会場(12A)

座長：中島 雅史(子どものためのあいち AAC 研究所)

1-L-1 知的障害者への読書保障のための代読について

大阪特別支援教育振興会 吉田くすほみ

1-L-2 支援の現場での連携－認知行動療法的手法を用いて－

新潟大学脳研究所 脳神経外科学教室 相場恵美子

1-M 高次脳機能障害 16:00～16:50 第2会場(12A)

座長：辰巳 寛(愛知学院大学 心身科学部 健康科学科)

宮本 光江(大阪警察病院 リハビリテーション科)

1-M-1 可逆性脳梁膨大部病変を伴う軽症脳炎 / 脳症による高次脳機能低下を呈した一例

公立陶生病院 中央リハビリテーション部 言語訓練室 山崎 由香

- 1-M-2** 抗 NMDA 受容体脳炎による高次脳機能障害を呈した一例
一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 リハビリテーション部 裴 雅蓮
- 1-M-3** 現職復帰希望の高次脳機能障害のある症例に対し行ったチームアプローチ
昭和大学 藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 中嶋 千聡
- 1-M-4** 集団認知リハビリテーションにおける聞き返し訓練の取り組み
—〈確認の技 verification technique〉を用いて—
なやクリニック 新藤 千夏
- 1-M-5** 頭部外傷後、失語・社会的行動障害を呈した症例への対応とその経過
—グループ訓練での支援方法を中心に—
なやクリニック 高次脳機能ケア 蜂谷 敦子

第2日目 7月9日回

2-A 吃音(成人) 9:05～9:45

第1会場(55A)

座長：川合 紀宗(広島大学大学院 教育学研究科・国際協力研究科)
小林 宏明(金沢大学 人間社会研究域 学校教育系)

2-A-1 一般人の吃音に関する知識の文献検討：国内・国際比較

医療法人社団富家会 富家病院 リハビリテーション室 飯村 大智

2-A-2 就職・学業に挫折し心理的危機を迎えていた吃音青年に対する支援 ～長期間・頻回に面談した2事例について～

近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部 久保田 功

2-A-3 語頭音節の種類が吃音者の発話容易性および音読潜時や吃音生起率に 与える影響

広島大学大学院 教育学研究科 学習開発学専攻 特別支援教育学専修 小田 桃子

2-A-4 成人吃音者に対する、心理面に焦点を当てた認知行動療法的介入の 効果研究のレビュー

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 灰谷 知純

2-B 言語聴覚士の養成 9:50～10:20

第1会場(55A)

座長：畦上 恭彦(国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科)

2-B-1 発達障害特性がある ST 学生が実習場面で直面する困難についての予備調査

大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科 工藤 芳幸

2-B-2 言語聴覚士養成教育課程における初年次教育の難しさについて

愛知淑徳大学 初年次教育部門 永井 聖剛

2-B-3 言語検査、知能検査からみる専門職養成におけるジェンダー、 セクシュアリティ教育の必要性

伊賀市立上野総合市民病院 正木 健太

2-C 失語症(会話・コミュニケーション) 10:30～11:20 第2会場(12A)

座長：佐藤 ひとみ(浴風会病院 リハビリテーション科)
沖田 啓子(広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻)

2-C-1 失語のある人の対話者に対する会話パートナー訓練後のビデオフィードバックを含むフォローアップ訓練の効果

我孫子市障害者福祉センター 竹中 啓介

2-C-2 ST 学生の失語症理解の深まり ―会話グループ参加を通して―

首都医校教務部 言語聴覚学科 高濱美佐子

2-C-3 重度失語症者とのかかわりの中で得た ST 実習生の気づきと両者の関係性の変化

国立障害者リハビリテーションセンター・学院 言語聴覚学科 百武 理子

2-C-4 失語症者の自主性に配慮したグループ訓練の試み

臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科 阿部 裕実

2-C-5 失語がある人の生活場面におけるコミュニケーションについてのエスノメソドロジー・会話分析研究(1)

常磐大学 人間科学部 西澤 弘行

2-D 摂食嚥下障害(成人) 11:25～12:05 第2会場(12A)

座長：豊島 義哉(独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院 リハビリテーション部)
阿志賀 大和(新潟リハビリテーション大学 医療学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻)

2-D-1 食欲不振による摂食嚥下訓練の停滞に対してリバスチグミンの貼付が有効と思われた2症例

岡崎市民病院 リハビリテーション室 田積 匡平

2-D-2 脳血管障害の有無と摂食嚥下機能の関連

医療法人偕行会 名古屋共立病院 堀池 正太

2-D-3 経管栄養から経口摂取へ移行できたことにより社会参加につながった一症例

医療法人あいち診療会 あいち診療所野並 齋場 瑠美

2-D-4 当センター舌癌患者の術式と嚥下機能、食事形態について

東京医科大学 八王子医療センター 左田野智子

2-E 自閉スペクトラム症 14:40～15:20

第2会場(12A)

座長：槻館 尚武(山梨英和大学 人間文化学部)

藤野 博(東京学芸大学 教育学部)

2-E-1 自由会話場面における自閉症スペクトラム障害者の コロケーション逸脱について

平谷こども発達クリニック 福田 純子

2-E-2 自閉症スペクトラム者の言語・コミュニケーション 一語の意味理解と対話での返答に焦点をあててー

上智大学 言語聴覚研究コース 権田 朋子

2-E-3 AQの高い母親は語用障害のある子どもの コミュニケーション行動に対して寛容か？

連合小児発達学研究所 金沢大学 英 香里

2-E-4 かき混ぜ語順文で格助詞の使用に困難を呈した 成人自閉スペクトラム症の1例

名古屋大学病院 親と子どもの心療科 小川 七世

2-F 摂食嚥下・発話障害(小児) 15:25～15:55

第2会場(12A)

座長：中嶋 理香(名古屋芸術大学 人間発達学部 子ども発達学科)

2-F-1 当センター摂食外来を受診した食事に拒否を示す児の特徴と経過の検討

東京都立東部療育センター リハビリテーション科 中山 陽子

2-F-2 新生児・乳児消化管アレルギーを合併した Noonan 症候群に対する 哺乳摂食訓練の経過

公立陶生病院 中央リハビリテーション部 言語訓練室 長谷川智子

2-F-3 生後3か月時に右未分化肉腫を発症した児の嚥下機能と音声機能の関連性

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 岡本 梨江

ポスター発表

第1日目 7月8日(土) 15:20～15:50 第5会場(交流ラウンジ EAST)

P1-A 失語症(基礎)・高次脳機能障害

P1-A-1 AphasiaBank 日本語版プロジェクト

社会医療法人財団 東大和病院 飯塚 直子

P1-A-2 一失語症者の口頭・メールにおける情景画の叙述(1)
—表出命題の情報伝達性と形式的適切性の観点から—

医療法人尾張健友会 千秋病院 リハビリテーション科 広瀬 由佳

P1-A-3 一失語症者の口頭・メールにおける情景画の叙述(2)
—自己修正の特徴に着目して—

社会医療法人健和会 健和会病院 山内 美乃

P1-A-4 失語症者の聴覚的単語把持能力について
—呈示刺激間の意味的・音韻的類似性の影響—

医療法人生寿会 五条川リハビリテーション病院 子林 美晴

P1-A-5 聴覚的な情報処理能力を生かした訓練により多彩な高次脳機能障害が
改善した一例

医療法人社団誠道会 各務原リハビリテーション病院 リハビリテーション科 長谷川美佳

P1-A-6 前頭葉損傷後の認知機能障害に対して ipad を用いた
リハビリテーションの試み

社団医療法人かなめ会 山内ホスピタル 北川 敬太

P1-B 摂食嚥下障害(成人)

P1-B-1 拒食から三食経口摂取を経て在宅復帰に至った一例

医療法人光洋会 赤間病院 横山 典子

P1-B-2 経口摂取が進まず、一時的に経鼻胃管栄養中止にしたところ
3食経口摂取可能となった1症例

公益社団法人群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院 日野 良彦

P1-B-3 全般的な認知機能の改善により3食自力経口摂食が可能となった1症例

医療法人宝美会 豊川青山病院 リハビリテーション技術室 松山 美江

P1-B-4 摂食・嚥下障害患者に対する当院の取り組み

医療法人大真会 大隈病院 伊藤 由佳

**P1-B-5 食事環境調整と身体抑制・ルート類の解除で長期の拒食が改善した
認知症患者の一例**

一般社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 富永 奈穂

**P1-B-6 小脳出血にて重度コミュニケーション障害、嚥下障害を呈した利用者の、
訪問リハによる訓練経過**

医療法人博報会 いのこし病院 森本 貴久

**P1-B-7 食形態の違いが咀嚼回数、嚥下回数、呼吸パターンに及ぼす影響について
—若年者における検討—**

社会医療法人厚生会 木沢記念病院 辻 史織

**P1-B-8 水分変化量が嚥下時間・嚥下回数・嚥下時呼吸パターンに及ぼす影響
—若年者における検討**

社会福祉法人恩賜財団 愛知県済生会リハビリテーション病院 横幕 紗千

P1-B-9 最大舌圧と運動器機能との関係 —握力測定値の採用方法にも着目して—

医療法人 富田浜病院 杉本 恵里

P1-C 言語発達障害（社会支援）

P1-C-1 高機能 ASD 幼児のグループ支援（わくわくクラブ）における親の認識の変化

愛知県青い鳥医療療育センター リハビリテーション部 高田 直人

**P1-C-2 発達障がい児を持つ親へ、子育て支援セミナーを開催したことで
みえてきた事**

社会医療法人中信勤労者医療協会 松本協立病院 リハビリテーション科 長嶋 健介

P1-C-3 知的障害者の読書に関する調査

大和大学 保健医療学部 藤澤 和子

P1-C-4 地域支援における現状と課題

北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター 小野 栄治

P1-C-5 発達障害を背景とするひきこもりに対する支援 —多機関連携による支援—

川崎医療福祉大学 佐藤 隆也

P1-D 発達・発達障害(基礎)

- P1-D-1 自閉症スペクトラム児における視点の困難さについて
— 語彙獲得の視点からの検討 —
東北文化学園大学 医療福祉学部 東海林 藍
- P1-D-2 自閉スペクトラム症児は絵本をどのように見るのか
— アイトラッカーを用いた実験的絵本共有場面での検討 —
大阪大学大学院 人間科学研究科 島藤 安奈
- P1-D-3 ごっこ遊び中のやりとりの違和感はどこからくるのか
— ASD 女児と大人の会話分析からの一考察 —
共立女子大学 権藤 桂子
- P1-D-4 SLI 児の動詞語彙の発達について
川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科 言語聴覚専攻 小坂 美鶴
- P1-D-5 ある大学に在籍する学生の音読流暢性、注意、視覚的認知処理の実態
東北大学 加齢医学研究所 松崎 泰
- P1-D-6 発達性読み書き障害のリスク検出のための就学前チェックリスト作成
上智大学大学院 言語科学研究科 原 恵子

P1-E 重度重複障害・摂食嚥下障害(小児)

- P1-E-1 副腎白質ジストロフィー患児の長期的な経過と介入
一般社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 西岡 恭子
- P1-E-2 多職種間で重度重複障害児のコミュニケーション能力を共有する試み
医療型障害児入所施設 大阪整肢学院 リハビリテーション部 富田朝太郎
- P1-E-3 地域療育センターにおける「食べる」ことへの支援の役割
東部地域療育センターぼけっと 高木 香織

P1-F 基礎研究

- P1-F-1 健常児における物語の内容説明能力の発達について
社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会リハビリテーション病院 安田 珠実
- P1-F-2 頷きの回数調整による会話満足度の変化
愛知淑徳大学 安藤 太郎

P2-A 失語症・その他の障害(社会支援)

- P2-A-1** 失語症の影響についての自己評価尺度 AIQ 使用の試み
上智大学大学院 言語科学研究科 言語聴覚研究コース 吉畑 博代
- P2-A-2** 失語症友の会における文字によるコミュニケーション支援の現状と認識
県立広島大学 コミュニケーション障害学科 伊賀 琢朗
- P2-A-3** 失語症者の就労生活実態調査報告
—コミュニケーション支援の視点から—
名古屋市総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科 諸岡 雅美
- P2-A-4** 失語症者の就労支援に関する一考察 —福祉的就労をした事例を通して—
名古屋市総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科 渡邊 由衣
- P2-A-5** 会話パートナーによる失語症支援活動の意義
—会話パートナー及び失語症者各々への調査より—
愛知淑徳大学 松永えりか
- P2-A-6** 失語症のある人を対象にした失語症講座の試み
—当事者へのエンパワメントの視点から—
世田谷区立総合福祉センター 安保 直子
- P2-A-7** 言語聴覚学専攻学生による失語症者に向けての「説明」
—学習年数および同級生に向けた「説明」との比較—
愛知淑徳大学 健康医療科学部 佐藤 愛加
- P2-A-8** 離島住民に対する予防的遠隔リハビリテーションの試み
新潟リハビリテーション大学 言語聴覚学専攻 阿志賀大和
- P2-A-9** 言語聴覚療法における病院と在宅の情報共有に関する現状と課題
～病院勤務の ST の認識に焦点をあてて～
訪問看護リハビリステーション サンハートライフ東海 瀧本 倫子

P2-B 構音障害・音声障害(成人)

P2-B-1 中咽頭がん切除・再建後の構音の継時的変化

東京慈恵会医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 今川 記恵

P2-B-2 大動脈下リンパ節転移による左反回神経麻痺・嘔声に対して 高音域の歌唱が有効であった症例

社会医療法人中信勤労者医療協会 松本協立病院 宮坂 真史

P2-C 言語発達障害(支援・訓練経過)

P2-C-1 「物隠しー探し当て」ゲームの積み上げ： 自閉症の子とゲームでコミュニケーション その6

NPO 法人コミュニケーション・アシスト・ネットワーク
ことばの相談室ひなたぼっこ 山本 正志

P2-C-2 テーブルトーク・ロールプレイングゲーム(TRPG 活動)に参加した 自閉スペクトラム症(ASD)児の語りの質的分析

東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 加藤 浩平

P2-C-3 集団になじめない自閉症児への自立活動の観点に立脚した心理的支援の検討

茨城県つくば市立竹園西小学校 奥沢 忍

P2-C-4 VOCA を用いたコミュニケーション支援1 ～自閉症児への言語指導場面での取り組み～

白根大通病院 小児言語リハビリテーション外来 遠藤 理紗

P2-C-5 VOCA を用いたコミュニケーション支援 ～VOCA を導入した2事例の検討～

医療法人社団白美会 白根大通病院 小児言語リハビリテーション外来 長谷川史弥

P2-C-6 けいれん重積型急性脳症により高次脳機能障害を呈した一幼児例

大阪市立総合医療センター 小児言語科 小川 智江

P2-C-7 小児期の小脳炎により言語障害、高次脳機能障害を呈した一例

川崎市南部地域療育センター 玉井 智

P2-D 構音障害(小児)

- P2-D-1 口蓋裂児の構音における「八行音様の誤り」について
—4歳時の言語評価から—

慶應義塾大学病院 耳鼻咽喉科 浅野 和海

- P2-D-2 口蓋裂幼児における随意運動発達の特徴

愛知淑徳大学 井崎亜里子

- P2-D-3 保育者の構音聴取能力と原因認識等の要因の検討

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 木原ひとみ

P2-E 吃音・緘黙

- P2-E-1 認知行動療法と言語療法を併用した不登校の中学生吃音者に対する
支援1事例：主観的 QOL の変容に注目して

新潟医療福祉大学 医療技術学部 言語聴覚学科 石本 豪

- P2-E-2 日本語を母語とする場面緘黙児の言語能力 —CCC-2を用いた評価—

長野大学 社会福祉学部 高木 潤野

- P2-E-3 幼児期における「緘黙状態」への自覚的意識の発達

社会福祉法人円福会 児童養護施設 円福寺愛育園 船戸 映見

P2-F 聴覚障害

- P2-F-1 失聴期間に左右差のある両側人工内耳埋め込み後の2症例

慶應義塾大学病院 耳鼻咽喉科 前川明日彩

- P2-F-2 人工内耳を装用する聴覚障がい青年の自己認識について

愛知淑徳大学 心理医療科学研究科 石田 彩

- P2-F-3 聴覚障害児の比喩文理解と理解語彙の関係とオノマトペの効果

愛知淑徳大学 健康医療科学部 藤嶋 桃子

- P2-F-4 大学に在籍する聴覚障害学生の FM 補聴システムの使用状況について

上越教育大学 臨床・健康教育学系 小林 優子

P2-F-5 高等教育段階にある聴覚障害者の職業興味及び
キャリア発達促進・抑制の諸要因

早稲田大学 人間科学学術院 杉中 拓央

P2-F-6 読話場面におけるヒント効果の比較検討

愛知淑徳大学 健康医療科学部 内田 成美